

報告書名	平成 20(2008)年度 高温ガス炉プラントに関する研究報告書
発行年月	平成 21(2009)年 3 月
概要	高温ガス炉の実用化検討に資する目的で、以下を実施した。 (1) 技術課題の検討: ①次世代原子力プラント(NGNP)関連の公開文献に基づく「高温ガス炉プラントの安全上重要な課題に関する調査検討」、②「水素の国内最大需要及び炭酸ガス排出削減量に関する調査検討」について、ワーキンググループを設置し、実施した。 (2) 有識者による講演・意見交換: 高温ガス炉の位置付けや活用に関し幅広い視点を持つ有識者 4 名による講演と意見交換を行ない、高温ガス炉の実用化や国際展開に関する有益な意見を聴取した。 (3) 開発動向調査: ①国際会議(「第 4 回高温ガス炉技術に関する国際会議」(OECD/NEA 主催))での情報収集、参加者との情報交換、②公開情報に基づき、高温ガス炉に関する主要国の最新の開発動向調査を実施した。
目次	はじめに 関係者名簿 I. 今年度の活動実績の概要 II. 有識者による講演 1. 「高温ガス炉熱利用の開発の流れと今後の我が国の戦略」 2. 「元気が出る? 高温ガス炉」 3. 「持続可能なエネルギー政策と高温ガス炉」 4. 「低炭素化目標と対策技術」 III. 調査・研究・評価活動 1. 高温ガス炉の開発上の課題に関する調査 2. 水素の国内最大需要量および炭酸ガス排出削減量に関する調査 IV. 高温ガス炉研究・開発動向調査 1. 「第 4 回高温炉技術国際会議」出席報告 2. 主要国における高温ガス炉開発の動向 V. 今後の活動計画案